

株主・投資家の皆様へ

第22期 株主通信

2013年1月1日から2013年12月31日まで

Siix
We care.

Contents

株主の皆様へ	01
特集	02
事業の概況	05
シークスグローバルネットワーク	07
連結財務諸表	09
トピックス	11
会社概要	12
株式の状況	13
役員の状況	14

シークス株式会社

証券コード 7613



代表取締役会長
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第22期株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の世界経済を振り返りますと、米国では雇用者数が増加し個人消費も堅調に推移する等、景気は緩やかに回復しました。欧州ではユーロ圏の主要国で景気の持ち直しが見られましたが、引き続き債務問題等による景気下振れリスクが残りました。アジア地域においては、中国では個人消費が堅調に増加し、安定した景気の拡大が見られましたが、アセアン地域等の新興国においては通貨安による景気下振れリスクが強まりました。日本経済は、現政権による脱デフレ政策の効果を下支えに、企業収益、雇用情勢や個人消費等に改善が見られ、景気は全体として緩やかに回復しました。

このような情勢下、2013年12月期の当社業績は世界的な車載関連機器の好調な出荷や円安などに支えられ、売上高および当期純利益において、過去最高の業績となりました。

新たな拠点展開としましては、2013年5月には当社海外事業創業の地であるフィリピンに念願の製造工場を設立、続いて2014年1月には台湾のパートナーと合併にて金型製造、成形事業という新たな分野に進出し、顧客企業の多様なニーズに対応できる体制が整いました。また、米州においてはメキシコ中部に新工場を建設中であり、まずは北米向け、南米向けの車載関連機器や産業機器等の需要に応じていく予定であります。

本年も当社の強みであるグローバルベースの調達・製造・物流の一環サービスに更なる付加価値(プラスワン)を追求しながら、顧客企業のニーズに対応してまいります。

株主の皆様には、どうか引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年3月

チャイナ・プラスワンの 追い風を受け、フィリピンに 生産拠点を2社設立

当社のフィリピンにおける活動は、1957年の創業当時まで遡ります。近年、中国リスクを回避する動きが高まり、賃金上昇率が低く、豊富な労働力がそろい、英語圏でもあるフィリピンに世界が再注目。日系や欧米系企業が次々に進出し、経済は活況を呈しています。当社ではビジネス拡大のチャンスととらえ、製造拠点を相次いで2カ所設立しました。



海外初進出の国に 念願の製造拠点を設立 ～投資環境がそろい、企業進出が相次ぐ～

当社の歩みは、1957年、フィリピンへのラジオ・テレビ用電子部品の輸出販売から始まりました。1960年には初めての駐在員事務所を首都マニラに開設。現地パートナーと厚い信頼関係を築き、フィリピンへの電子部品の輸出が、大きく成長を遂げました。部品の現地生産・調達にも力を注ぎ、現地工場とのネットワークを広げながら、1990年に自動車用ワイヤーハーネスの生産を行う合併会社を設立。1993年からは電子機器のEMS(電子機器受託製造サービス)をスタートしました。また、1997年には電子部品ならびに電子機器等の販売・物流拠点として、現在のSIIX Logistics

Phils, Inc. (SLP)を開設。お客様のニーズにきめ細かく応える迅速なサービスの提供に努めています。

フィリピンは、近年、安定した労働賃金水準や英語が公用語であることなどから、チャイナ・プラスワン(中国に生産拠点が過度に集中するリスクを回避するため、中国以外に拠点を設ける戦略)の候補地として注目されています。すでにプリンター関連等の日系の大手メーカーをはじめ、欧米系のコンピューター周辺機器や電源関連のメーカーが次々に進出を決定。経済は活発化し、2014年のGDP(国内総生産)成長率は6.5～7.5%になる模様です。

このような追い風が吹く中、2013年5月にフィリピンで初めての自社工場SIIX EMS PHILIPPINES, INC. (SEP)を、2014年1月には当社初の合併成形工場SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. (SCP)を設立しました。

成形・金型を組み込んだEMSで幅広いニーズに対応する ～モノづくりに専念できる環境が整う～

SEPは、産業機器や車載機器に向けた電子機器の基板実装および組立加工などを担当します。以前からEMS事業を行っていた工場を人材も含めて譲り受ける形でスタートし、従業員はベテランぞろい。また、作業環境にもこだわり、防塵対策室というクリーンな部屋で基板実装のすべての作業が行われます。さらに、生産ラインに新鋭の検査機能を導入。各工程をシステムでつなぎ、不良品の発生場所を徹底的に追跡できるようにしました。

SCPは、COXON(コクソン)という台湾の上場成形メー

カーとの合併で誕生しました。同社が有する躯体づくりの技術を活用し、プラスチック部品の成型および金型の製造を担います。成形機は日本製、金型製造機は日本製とヨーロッパ製を導入し、高精度を追及。さらに、金型のメンテナンスサービスも提供するなど、他社との差別化を図ります。海外工場で成形・金型製造を含めたモノづくりを行うのは、フィリピンが初めてです。

基板実装を行うSEPとプラスチック成形・金型製造のSCP、商社・物流の役割を担うSLPは、同一地域に集まっており、これにより、部材をジャスト・イン・タイムで調達し、基板等を製造して、お客様へ納品する一連の業務がワンストップで実現し、迅速なニーズ対応が可能になりました。さらに、基板実装機能とプラスチック成形機能を組み合わせることでモジュール製造や最終組立など、お客様の幅広いニーズに対応することができるようになりました。また、SLPが3社の総務・経理・人事などの事務方サポートを行うことで、SEPとSCPはモノづくりに専念できる環境が整いました。



岡田 雅夫

Masao Okada

取締役執行役員
大阪営業部長兼資材統括部担当兼
フィリピン、韓国、台湾担当
※2014年1月現在

「フィリピンに進出する企業の第一ベンダーになり、安定したパートナーシップを築きたい」と期待をかける。

名称	SIIX Logistics Phils, Inc. (略称SLP)	SIIX EMS PHILIPPINES, INC. (略称SEP)	SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. (略称SCP)
所在地	フィリピン ラグナ州 カランバ市 (2014年4月移転予定)	フィリピン ラグナ州 カランバ市	フィリピン ラグナ州 カランバ市
設立年月	1997年2月	2013年5月	2014年1月
従業員数 2013年12月末日	85名(うち日本人4名)	162名(うち日本人1名)	2014年計画 120名
事業内容	電子部品・電子機器の輸出入および販売	電子機器基板実装、組立加工等	プラスチック成形および金型製造
機能	商社・物流	EMS(受託製造)	プラスチック成形・金型製造
役割	部材調達と販売、物流	モノづくりに専念(基板実装・組立加工とプラスチック成形・金型製造を組み合わせた新領域への挑戦)	



落合 繁

Shigeru Ochiai

SIIIX Logistics Phils, Inc.
マネージング・ディレクター
SIIIX Phils., Inc.
マネージング・ディレクター

初の海外赴任がフィリピン。2010年からフィリピンの責任者として再赴任した。「現地の従業員やオペレーターだけでなく、その家族もハッピーにしたい」が信条。

グループ会社を最大限に活用し 競合他社との差別化を徹底 ～多彩な事業展開を推進～

フィリピンでEMSを展開しているのは、地場の会社も含めて10社ほどです。当社は、従来から高い評価を受ける部材のグローバル調達に加え、自社工場を持つことで電子部品の実装・組立と成形・金型を組み合わせた総合的な事業が可能になりました。

また、当社のフィリピン・ネットワークにはフィリピン国内への販売ライセンスを持つSIIIX Phils., Inc.があります。すでに30年の歴史を持ち、主として自動車部品、家具、雑貨などの輸入販売を手掛けており、また、ユニークなものでは、進出日系企業向けの、机、椅子、ロッカーなどのオフィスコーディネートサービスを提供しています。

このネットワークと機能を最大限に有効活用して、競合他社との差別化を徹底して図り、プリンター関連をはじめ、ATMなど産業機器関連や車載関連の日系企業、欧米系企業との取引を拡大し、さらにはフィリピン地場企業の開拓にも取り組んでまいります。

豊富な労働市場から 優れた人材を選んで教育 ～日本の製造技術を共有化～

従業員の雇用に関しては、現地の人材が中心です。フィリピンの出生率は3.23とアジアNo.1で、人口は9000万人を突破しました。若年層がたいへん豊富で、就業人口も右肩上がりなので、人材募集には苦労しません。ただし、優秀な技術者は年々獲得が難しくなってきました。

SEPでは産業機器や車載機器へ向けたモノづくりを強化するため、日本の技術統轄部門の支援を受けながら、技術のレベルアップに取り組んでいます。日本での研修も含めた従業員の教育に力を入れる計画です。SCPでも120名の従業員を募集している最中です。営業拠点のSLPと、生産拠点のSEPならびにSCPの従業員同士がコミュニケーションを深め、製品の品質とお客様への対応スピードを高めることが期待されます。これにより、お客様へのワンストップサービスをさらに強化し、安定したパートナーシップの構築を目指したいと考えます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



於保 慎哉

Shinya Oho

SIIIX EMS PHILIPPINES, INC.
マネージング・ディレクター

今回でフィリピン赴任は2度目。生産技術が専門で、「特効薬はない。一つひとつの課題と地道に向かい合うべし」をモットーに、工場運営に当たる。

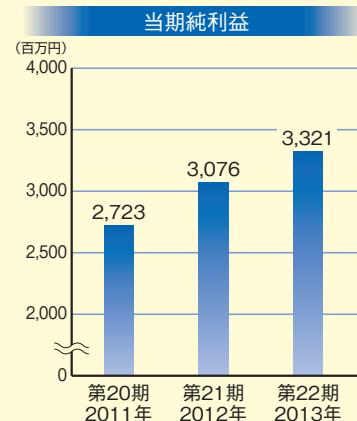
事業の概況

ハイライト

売上高 **2,070**億 **9**百万円

経常利益 **54**億**2**千**7**百万円

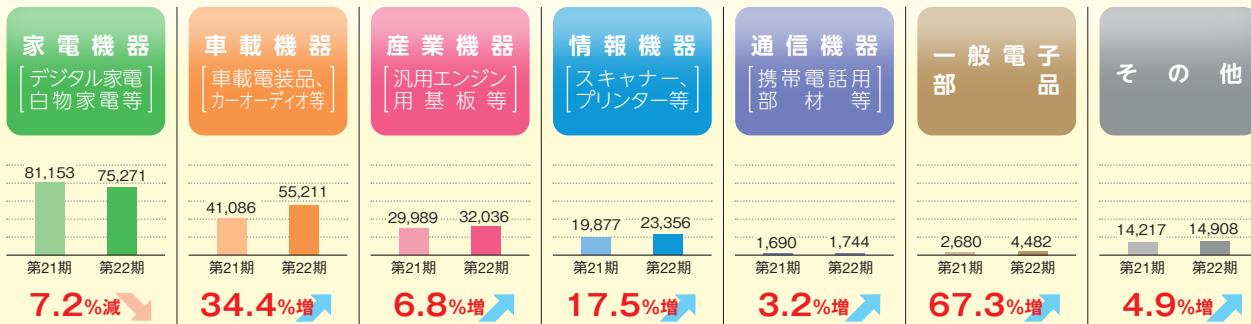
当期純利益 **33**億**2**千**1**百万円



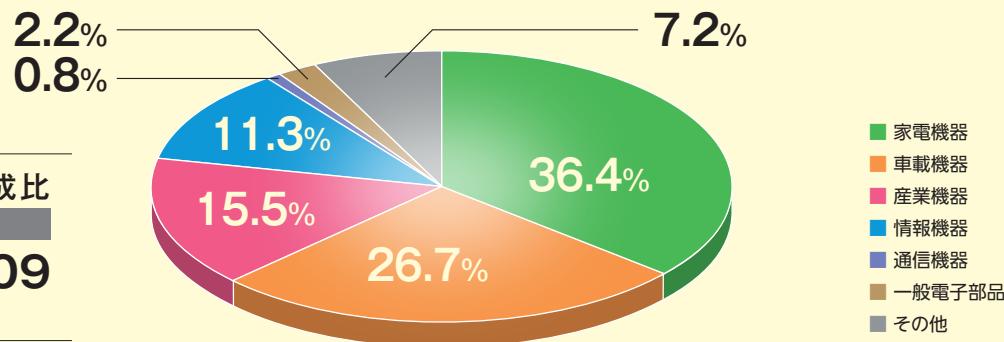
経営成績

当社の当連結会計年度の業績は、車載関連機器用部材や産業機器用部材等の出荷が好調に推移したことに加えて、円安の影響もあり、売上高は2,070億9百万円と前連結会計年度に比べ163億1千6百万円の増加(8.6%増)となりました。利益面においては、売上高の増加にともない、営業利益は50億1千1百万円と前連結会計年度に比べ3億6千3百万円の増加(7.8%増)となりました。また経常利益は54億2千7百万円と前連結会計年度に比べ4億5千4百万円の増加(9.1%増)となりました。当期純利益は33億2千1百万円と前連結会計年度に比べ2億4千4百万円の増加(7.9%増)となりました。

品種別の状況



売上高構成比
第22期
207,009
百万円



PICK UP!



産業機器分野

当社のビジネスで、車載関連機器とならんで近年成長を遂げている分野が産業機器分野です。一口に産業機器といっても用途は多種多様で、製品例としては、汎用エンジン、航空機内用AV機器、工業用マシン、各種制御機器などがあります。さらに、今後の重点分野として医療機器分野の開拓に取り組んでおります。

シークス グローバルネットワーク

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております(2013年12月末現在)。

シークスグローバル
ネットワーク

電子 (欧州)	(百万円)	
	5,158	7,605
	第21期 2012年	第22期 2013年

- ⑧ SIIX Europe GmbH ●
- ⑨ SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲

電子 (アジア)	(百万円)	
	127,136	142,491
	第21期 2012年	第22期 2013年

- ⑩ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑪ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch ◆
- ⑫ SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. ▲
- ⑬ SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑭ SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ■★
- ⑮ SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑯ SIIX TWN Co., Ltd. ■
- ⑰ SIIX Bangkok Co., Ltd. ●
- ⑱ SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. ▲
- ⑲ SIIX Phils., Inc. ■
- ⑲ SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ⑲ SIIX EMS PHILIPPINES, INC. ▲★
- ⑲ SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ⑲ PT SIIX Electronics Indonesia ▲
- ⑲ PT. SIIX EMS INDONESIA ▲■
- ⑲ PT. SIIX Trading Indonesia ■★

セグメント別売上高構成比

電子(米州)

7,125百万円
3.7%

電子(欧州)

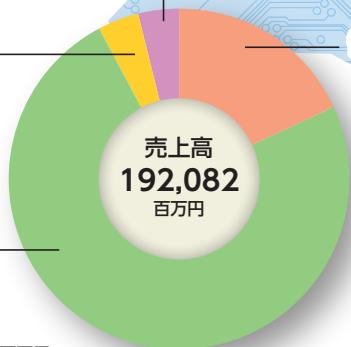
7,605百万円
4.0%

電子(日本)

34,859百万円
18.1%

電子(アジア)

142,491百万円
74.2%



※連結売上高207,009百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない14,926百万円が含まれております。

電子
(日本)

34,768	34,859
第21期 2012年	第22期 2013年

(百万円)

- ① シークス株式会社
- ② シークスエレクトロニクス株式会社

電子
(米州)

10,482	7,125
第21期 2012年	第22期 2013年

(百万円)

- ③ SIIX U.S.A. Corp.
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch
- ⑤ SIIX MEXICO, S.A DE C.V.
- ⑥ SIIX EMS MEXICO S de RL de C.V
- ⑦ SIIX do Brasil Ltda.

主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流
- 電子部品等の販売
- 各種基板実装および
機器・部品の組立・加工
- 支社・駐在員事務所
- ※★は非連結子会社

連結財務諸表

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期 (2013年1月1日から 2013年12月31日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年12月31日まで)
売上高	207,009	190,692
売上原価	193,925	179,373
売上総利益	13,083	11,319
販売費及び一般管理費	8,072	6,671
営業利益	5,011	4,647
営業外収益	762	692
営業外費用	345	366
経常利益	5,427	4,973
特別利益	17	220
特別損失	4	108
税金等調整前当期純利益	5,441	5,085
法人税、住民税及び事業税	1,440	1,498
法人税等調整額	698	425
少数株主損益調整前当期純利益	3,302	3,161
少数株主利益	△ 18	84
当期純利益	3,321	3,076

POINT

- ・車載機器、情報機器等の出荷が増加、売上、利益とも前年度を上回り、連結子会社（米国）売却による減少分を十分にカバーいたしました。
- ・前年に比べ円安基調が続き、業績に大きく寄与いたしました。

<主な平均為替レートの推移>

	2012年	2013年
米ドル	79.91円	97.69円
タイバーツ	2.58円	3.18円
ユーロ	102.77円	129.89円
香港ドル	10.30円	12.59円

<為替の影響額>

売上高への影響：	約298億円増
営業利益への影響：	約8.9億円増

※当年度の売上高、営業利益を前年度の平均為替レートを用いて換算した場合との差額

※連結損益計算書・連結貸借対照表・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期 (2013年12月31日現在)	前期 (2012年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	67,293	55,941
固定資産	21,911	18,761
有形固定資産	14,409	13,834
無形固定資産	516	638
投資その他の資産	6,985	4,288
資産合計	89,204	74,703
負債の部		
流動負債	47,409	41,079
固定負債	8,610	8,169
負債合計	56,019	49,249
純資産の部		
株主資本	29,717	27,151
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	26,398	23,832
自己株式	△ 677	△ 677
その他の包括利益累計額	3,268	△ 1,874
その他有価証券評価差額金	474	457
繰延ヘッジ損益	△ 5	△ 9
為替換算調整勘定	2,799	△ 2,322
少数株主持分	199	175
純資産合計	33,185	25,453
負債・純資産合計	89,204	74,703

連結キャッシュ・フロー計算書

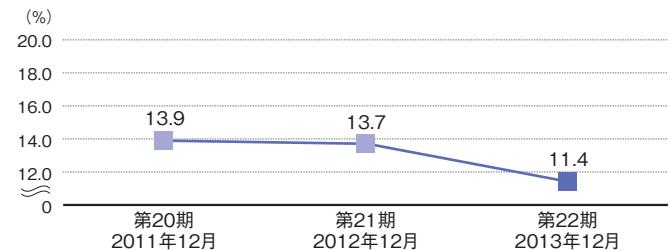
単位:百万円

科目	当期 (2013年1月1日から 2013年12月31日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,438	7,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,216	△ 4,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 105	△ 1,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,137	797
現金及び現金同等物の増減額	1,254	1,812
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	4,450
現金及び現金同等物の期末残高	7,518	6,263

自己資本比率



ROE



5月

フィリピン製造子会社 SIIX EMS PHILIPPINES, INC.設立

5月に設立いたしました、フィリピンの製造子会社が7月より稼働開始いたしました。チャイナ・プラスワンとして注目されつつあるフィリピンにおいて、当社のEMS事業を強化するべく販売会社と連携して事業を推進してまいります。

7月

稼働



SIIX EMS PHILIPPINES, INC.

2013年

8月

タイ製造子会社、 AS9100を取得

タイの製造子会社が航空宇宙産業の国際品質規格AS9100を取得いたしました。

9月

メキシコ製造子会社 SIIX EMS MEXICO S de RL de C.V設立

メキシコ中部 サンルイスポトシ市にEMS工場を設立いたしました。近年日系企業の進出が加速しているメキシコにおいて、車載機器、産業機器関連のビジネスを中心に北中南米の需要に対応してまいります。



SIIX EMS MEXICO S de RL de C.V.

(2013年12月31日現在)

商 号 シークス株式会社
 設 立 1992年7月1日
 資 本 金 2,144百万円
 従 業 員 数 個別 135名
 連結 8,641名
 本 社 〒541-0051
 大阪市中央区備後町一丁目4番9号
 TEL : 06-6266-6400
 FAX : 06-6266-6428
 東京営業部 〒102-0074
 東京都千代田区九段南二丁目3番25号
 TEL : 03-3238-7000
 証 券 コ ー ド 7613
 U R L <http://www.siix.co.jp/>

11月

フィリピン台風義捐金

当社グループは、フィリピン中部を直撃した台風被害に対する義捐金をフィリピン赤十字宛にお送りしました。

12月

フィリピンにおける 成形・金型製造子会社 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. 設立 機関決定

台湾のCOXONグループとの合弁で、プラスチック成形・金型製造事業の製造子会社の設立を機関決定いたしました。当社として初めての進出となるプラスチック成形・金型製造事業を部材調達代行やEMSサービス機能に加えることにより、幅広い分野の企業のものづくりに関する多様なニーズに対応してまいります。



株式の状況

株式の状況

(2013年12月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 25,200,000株
 当期末株主数 9,042名

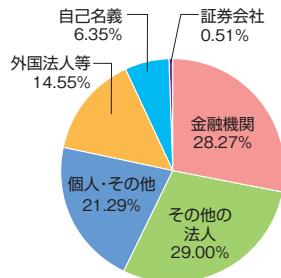
大株主

(2013年12月31日現在)

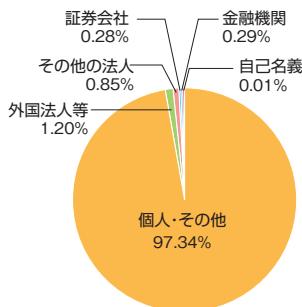
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカダイクス株式会社	5,906,000	23.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,675,400	6.65
有限会社フォーティ・シックス	1,100,000	4.37
株式会社りそな銀行	1,077,400	4.28
株式会社三井住友銀行	997,400	3.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	798,800	3.17
村井 史郎	700,000	2.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	659,100	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	616,400	2.45
MORGAN STANLEY & CO. INTERNATIONAL PLC	507,670	2.01

※上記のほか当社所有の自己株式1,600,431株(6.35%)があります。

〔所有者別所有株式数〕



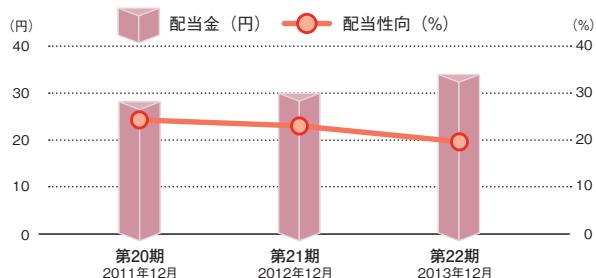
〔所有者別株主数〕



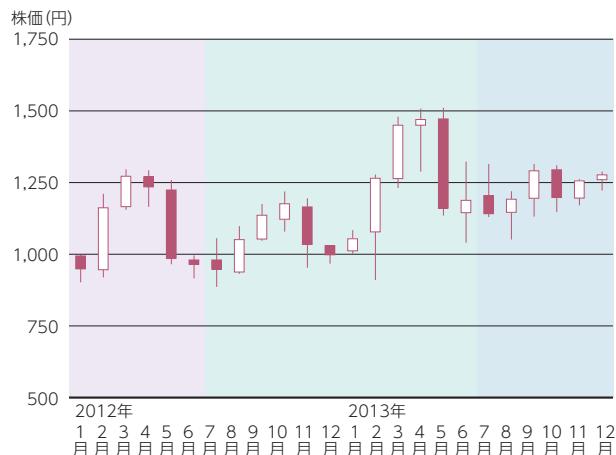
配当推移

当社は、株主各位に対し継続的かつ安定的に利益配分を実施することを基本としつつ、あわせて将来の事業展開と経営基盤強化のための内部留保の充実等も勘案し配当金額を決定する方針をとっております。当期配当につきましては、期末配当金を16円とし、すでにお支払いした中間配当金16円と合わせて年間32円の配当としております。

● 配当金および配当性向



● 株価推移 (2012年1月～2013年12月)



株主優待

ギフトカード

■対象：毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元（100株）以上の当社株式を保有の株主様



内容（お一人あたり）	
10単元（1,000株）以上	3,000円分のギフトカード
5単元（500株）以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元（100株）以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。

※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

タイ旅行

■対象：1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様
 ※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容：当社の主力事業であるEMS（電子機器受託製造サービス）に対する理解を深めていただくことを主眼に、当社基幹工場・タイ工場の視察を含むタイ旅行に、抽選で10名の株主様をご招待いたします。（毎年1回）



（2014年3月28日現在）

代表取締役会長 執行役員	村井史郎	
代表取締役社長 執行役員	桔梗芳人	
取締役 執行役員	近藤恒雄	経営企画部、総務部担当 兼 情報システム部長 兼 秘書室長
取締役 執行役員	岡田雅夫	大阪営業部長 兼 資材統括部担当 兼 韓国、台湾担当
取締役 執行役員	水谷嘉弘	東京第一営業部長
監査役 （常勤）	東尾茂郷	
監査役	高谷晋介	仰星監査法人 代表社員、副理事長 フジ住宅株式会社 社外監査役
監査役	富山浩司	サカティンクス株式会社 常勤監査役
執行役員	岩武孝明	東京第二営業部長
執行役員	松嶋義彦	シークスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
執行役員	大野精二	経理部長
執行役員	中井徹郎	PT SIIX Electronics Indonesia マネージングディレクター
執行役員	外山正一	シンガポール地域担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	好川 浩	インドネシア地域担当 兼 PT. SIIX EMS INDONESIA担当 兼 PT. SIIX Trading Indonesia プレジデントディレクター
執行役員	松下宇一郎	名古屋営業部長 兼 中国華東・華北地域担当 兼 SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. 担当
執行役員	吉田明生	香港・中国華南地域担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長
執行役員	辻本哲男	タイ地域担当 兼 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. 担当 兼 SIIX Bangkok Co., Ltd. マネージングディレクター
執行役員	友田雅之	経営企画部長
執行役員	村上正樹	北米地域、南米地域担当 兼 SIIX U.S.A. Corp. マネージングディレクター
執行役員	柳瀬晃治	欧州地域担当 兼 SIIX EMS Slovakia s.r.o. 担当 兼 SIIX Europe GmbH マネージングディレクター
執行役員	高濱郷志	フィリピン担当 兼 SIIX Logistics Phils, Inc. 担当 兼 SIIX EMS PHILIPPINES, INC. 担当 兼 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. マネージングディレクター

※監査役のうち、高谷晋介氏、富山浩司氏は社外監査役です。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株
上場取引所 東京証券取引所市場第一部
証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(<http://www.siix.co.jp/ir/irnewsml/>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。